

APCOM 2019 の報告

岡田 裕 JACM 会長 (東京理科大学)

2019年12月18日～20日に台湾・台北、台北国際会議センターで開催されました第7回 APCOM (Asian Pacific Congress on Computational Mechanics) の報告をさせていただきます。

APCOM (Asian Pacific Congress on Computational Mechanics) は IACM (International Association for Computational Mechanics) のアジア・パシフィック地域団体である APACM (Asian Pacific Association for Computational Mechanics) が3年に一度開催する会議です。前回はWCCMとアジア・パシフィック地域で開催されるWCCM (World Congress on Computational Mechanics) と韓国・ソウルで同時開催でした。

オープニングセレモニーでの発表によると参加者総数は727名、うち日本からの参加が292名で国別参加者数としては最多でした。続いて、地元台湾の211名、韓国106名、米国30、中国29、香港11名、シンガポール9名、オーストラリア8名、ドイツ7名、ヨーロッパ諸国からも数名ずつ、などです。オープニングセレモニーでは、2019年 APACM Ward の授賞式も行われ、APACM Congress Medal (Zienkiewicz Medal)がSung-Kie Youn教授 (Korea Advanced Institute of Science and Technology) に、APACM Valliappan Medal がAndrew YT Leung教授 (City University of Hong Kong) に、APACM Award for Computational MechanicsがChuin-Shan(David) Chen教授 (National Taiwan University) とTayfun E. Tezduyar教授 (Rice University) にそれぞれ授与されました。さらに、APACM Award for Young InvestigatorsとAPACM Award for Senior Scientistsが行われ、それぞれ6名の若手研究者と4名のシニア研究者の方々に授与されています。若手研究者の中には今井陽介教授 (神戸大学) と車谷麻緒准教授 (茨城大学) が、シニア研究者には岸本喜久雄名誉教授 (東京工業大)、金山寛名誉教授 (九州大学)、竹内則雄教授 (法政大学)、久田俊明名誉教授 (東京大学、UT-Heart研究所代表取締役会長) が含まれています。写真1は授賞式終了後、ステージ上の集合写真撮影直後の様子です。



写真1 授賞式後に行われた受賞者集合写真撮影後の様子

(Technische Universität Wien) とWing Kam Liu教授 (Northwestern University) によるプレナリー講演に続き、午前のパラレルセッションが行われました。パラレルセッションは大体15～16並列で行われ、WCCMほどではないにしても迷子にならないようにするのが大変だったことを記憶しています。昼食後の3パラレルで行われたセミプレナリセッションでは、高木知弘教授 (京都工芸繊維大学) が登壇されました (写真2、講演題目:「Multi-GPU Accelerated Large-scale Phase-field Simulations for Dendritic Solidification」)。また同じ時間帯で中島研吾教授 (東京大学) も登壇されています (講演題目:「An Innovative Method for Integration of Simulation /Data/Learning in the Exascale/Post-Moore Era」)。



写真2 セミプレナリ講演をされる高木教授

2日目のプレナリーセッションでは、David Srolovitz教授 (City University of Hong Kong)、Tayfun Tezduyar教授 (Rice University) に続き奥田洋司教授 (東京大学) が登壇されました (写真3、講演題目:「Role of High Performance Open CAE Applications in Structural Design and Production」)。司会は、私 (岡田裕; Hiroshi Okada) が務めさせて頂き、Professor Hiroshi Okuda を Hiroshi Okada が紹介する (アルファベット一字の違いです) をいうジョークで受けを狙ったのですが、完全に滑ってしまいました。もちろん奥田先生のご講演は大変興味深いものでした。

オープニングセレモニー終了後、Herbert Mang教授



写真3 講演準備をされる奥田先生

2日目のパラレルセッションでは、矢川元基名誉教授（東京大学、東洋大学）の喜寿を記念したミニシンポジウム「Deep and machine learning methodology in the context of application to computational mechanics」（和田義孝教授（近畿大学）ら企画）や吉村忍教授（東京大学）や樫山和男教授（中央大学）の還暦を記念したミニシンポジウムも開催されています。また、昼食時間に前号で報告したように2019JACM総会が開催されました（写真4）。



写真4 JACM総会の様子

2日目夜にはバンケットディナーが開催され、APCOM 2019議長である、Yeong-Bin Yang教授（National Taiwan University）のスピーチ（写真5）、アトラクション（写真6）、さらにAPACM（Asian Pacific Association for Computational Mechanics）会長に就任された吉村忍教授（東京大学）のスピーチ（写真7）がありました。



写真5 APCOM 2019 議長Yeong-Bin Yang教授（National Taiwan University）のバンケットでのスピーチ

様々盛り沢山の会議でしたが、一人で全てカバーできないので報告は以上とさせていただきます。冒頭でも述べましたが、今回の会議では日本から多くの参加があり、日本の計算力学研究のプレゼンスを示すことができたのではないかと思います。諸般の事情のため、中国からの参加は大変少なかったことは残念に感じました。筆者が企画に参加していたミニシンポジウムでも直前になって中国人オーガナイザーの方から参加できなくなった旨の連絡がありました。学術の世界にそれ以外の事情が影響してしまったこと、大変残念に思います。今後、このようなことが無くなることを切に希望します。



写真6 バンケットのアトラクション



写真7 吉村忍教授（東京大学）のスピーチ

COMPSAFE 2020 延期と講演募集の件

岡田 裕 JACM 会長（東京理科大学）

当初、2020年3月8日（日）から11日（水）にかけて、神戸国際会議場にて開催が予定されていた、COPSAFE 2020（Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems 2020）が新型コロナウイルス感染症流行のため、2020年12月に延期となりました。新しい日程は12月8日（火）～11日（金）です。詳しくは、HP（<https://www.compsafe2020.org/index.html>）をご覧ください。

この会議は、計算力学に関する国際組織であるIACM（International Association for Computational Mechanics）の特定国際会議（IACM Special Interest Conference）に、またその傘下の3大国際組織（APACM, ECCOMAS, USACM）の一つであるアジア太平洋地区組織APACM（Asian-Pacific Association for Computational Mechanics）の特定テーマ国際会議（APACM Thematic Conference）に位置付けられています。この会議を（社）日本計算工学会（JSCES）と日本計算力学連合（JACM）をHosting Organizationsとし、自然災害から人工物・人工システムの破壊や事故、環境問題まで安全・安心に関する計算理工学分野のテーマを幅広く

扱うものです。およそ400名（欧米90名、日本を除くアジア太平洋地域60名、日本から250名）程度の参加者を見込んでおります。延期に伴い、改めて講演募集が行われますのでJACM会員の皆様には奮ってご参加をお願い致します。

主な日程は下記の通りです。

講演アブストラクト提出受付開始：5月15日

講演アブストラクト受付締切：7月17日

講演採択通知配信：8月31日

エクステンデッドアブストラクト投稿受付開始：9月1日

参加登録（早期）締切：9月15日（早期の参加登録費が適用されます）

エクステンデッドアブストラクト投稿締切：10月16日

参加登録締切：10月16日（参加登録費支払い締切、講演発表を行うためにはこの日までに参加登録費支払いが必要になります）

WCCM-ECCOMAS 2020 Congress 中止と 2020 JACM 総会の件

岡田 裕 JACM 会長（東京理科大学）

2020年7月19日から24日にフランス・パリで開催が予定されていましたが、WCCM-ECCOMAS Congress 2020 が新型コロナウイルス感染症流行のために中止となりました。私もパリでの会議をととても楽しみにしていました。とても残念です。また、WCCM-ECCOMAS Congress 会期中に予定しておりました、2020 JACM 総会については現在オンライン開催を予定しております。パリでJACM会員の皆様にお会いできることをとても楽しみにしていました。大変残念です。

今年は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、3月以降に予定されていた様々な国内・国際会議が中止または延期になりました。JACMが深く関係する会議では、3月に神戸で開催が予定されていましたがCOPSAFE 2020（Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems 2020）が12月に延期になり、冒頭述べたように7月に予定されていたWCCM-ECCOMAS

Congressの中止を挙げるができます。また、6月に北九州で開催が予定されていた日本計算工学会主催の第25回計算工学講演会、9月に鹿児島で開催が予定されていた日本機械学会主催の第33回計算力学講演会（CMD2020）も中止となりました。

さらに、新型コロナウイルス感染症流行のため、我々の社会生活、経済、研究、教育とあらゆる分野の活動が大きな影響を受けています。私自身、これからどうなるか大変不安に感じていますが、全て前の通りとはいかないまでも、教育・研究、経済活動の本質的なところは以前と変わらない活動ができる日が来ることに希望を持っています。残念ながら2020年のJACM総会はオンライン開催となりますが、来年2021年JACM総会でお会いできることを楽しみにしております。

編集責任者

萩原 世也（佐賀大学）